

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-52 運営事業(老人保健医療事業)				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				655	運営事業	
主管課	保険年金課		関連課		659	診療報酬審査支払手数料	
分野名	健康福祉				770	医療給付費	
目標 (目標値)	老人の保健の向上と福祉の増進				771	医療費支給費	
					772	償還金	
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)	773	繰出金	
	人口	176,669人	176,484人		774	過誤納還付金	
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯		663	予備費	
運営資源 状況	決算値	65,778千円	1,823,956千円	対象者:21,923人	1321	繰上充用金	
	(国・県)	56,865千円	572,415千円		指標と評価		
	(負担金等)	7,962千円	1,014,648千円		指標		
	(一般財源)	951千円	236,893千円		評価		
	人員配置数	0.5人	0.5人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	4,706千円	5,006千円			目標値	実績値
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	70,484千円	1,828,962千円	20年度			
	市民1人当 りの経費	399円	10,363円	21年度			
	対象者1人 当りの経費	3,000円	84,243円	22年度			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名				23年度		
					最終年度 ( 年度)		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 老人医療保険制度は平成20年3月で終了し後期高齢者医療制度へ移行した。これにより平成20年3月診療分までの支払い等の事務を行っており請求件数等も激減しているが、平成23年度以降の、老人医療事業特別会計の存続について検討する。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 制度終息に向けた事務について、情報収集に努めた。 従来国保連合会が行っていた高額療養費の計算事務を11月から市で実施した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 20年度から3年間(22年度まで)の特別会計設置について法定設置期間が終わるが医療費の支払が継続するため、老人医療事業特別会計の存続について検討する。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 近隣市や県の対応状況を把握しながら、市としての対応を検討していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	平成20年4月から後期高齢者医療制度が開始した。20年3月診療分までが老人保健医療の対象となり、今後、事業が終了し、老人医療事業特別会計は廃止される予定。		評価結果	改善の必要性	平成20年4月から後期高齢者医療制度が開始し、老人保健制度は終了となり、老人医療事業特別会計は廃止される予定。	
C	有			C	有		
課長名		保険年金課長 相澤 昭弘		部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子	